



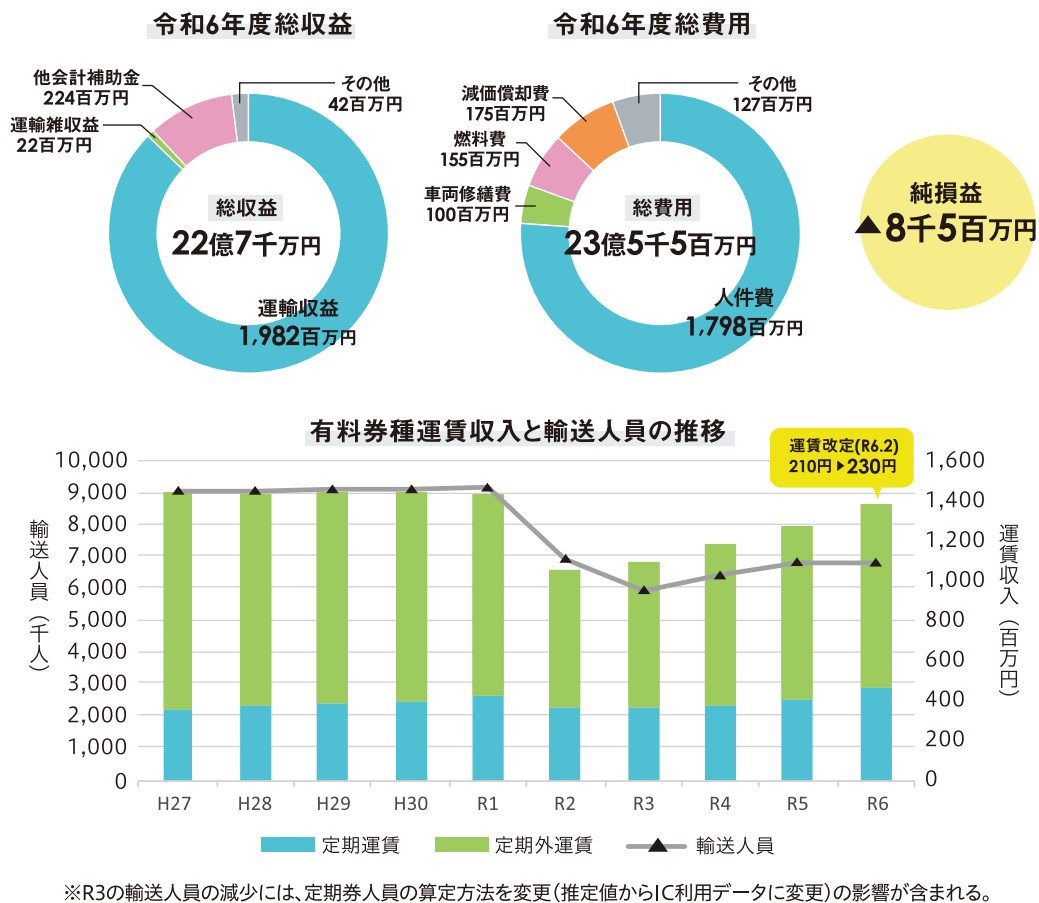
経営状況のお知らせ

令和6年度決算－5年連続の赤字決算－

令和6年度交通事業会計の決算は、総収益22億7千万円、総費用23億5千5百万円で、収支差引は8千5百万円のマイナスとなり、令和2年度以降、5年連続での赤字決算となりました。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行してから約1年が経過し、人々の生活や外出機会等が増えるにしたがって輸送人員が回復するとともに、令和6年2月の運賃改定により運輸収益は増加しましたが、一方で賃金水準の上昇や物価高騰により経費が増加したこともあり、採算が取れる収支状況までの改善には至りませんでした。

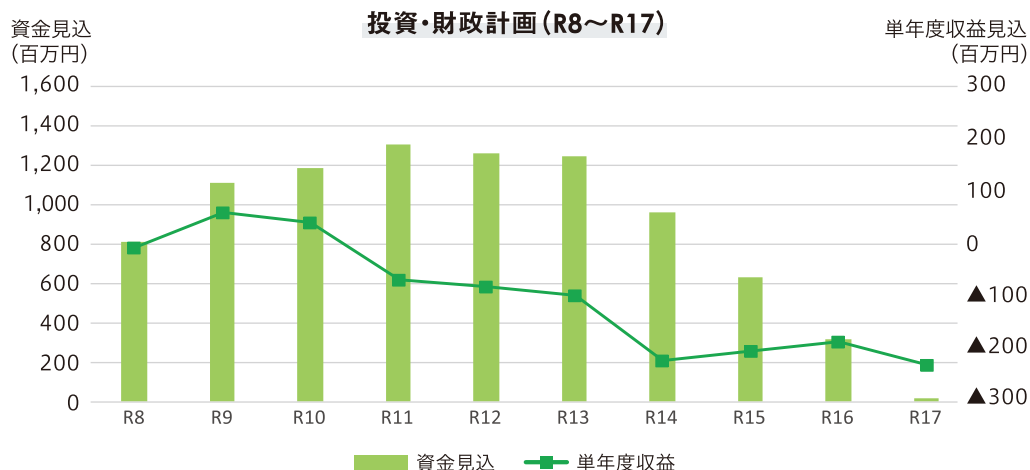
右記のグラフは、過去10年間の有料券種(特別乗車証以外の乗車券)の運賃収入と輸送人員の推移です。コロナ禍を機に輸送人員は大きく落ち込みましたが、その後徐々に回復に向かっています。また、令和6年2月の運賃改定により令和6年度の運賃収入は増収となりました。



10年間の収支見通しについて

「伊丹市交通事業経営戦略(令和8～17年度)」では、今後の人口推計や近年の人件費や物価高騰等の動向を考慮した費用を試算したうえで、令和8年8月の運賃改定等の収入を見込み、今後10年間の将来を見据えた投資・財政計画を策定しました。

右の図では、令和8年度に運賃改定等を行った場合、数年間は資金を維持できる見込みですが、依然厳しい経営状況が続くことを表しています。



「いたみバスナビ」でWeb遅延証明書を発行できます

- Web遅延証明書は、バスが降車バス停に5分以上遅れて到着した時に発行します。
- Web遅延証明書の発行は、遅延便ご利用の約1時間後からです(運行実績の反映までに時間を要します)。
- 過去60日のWeb遅延証明書を発行できます。



スマートフォンやパソコンで
バス車内の混雑度や
接近情報が
確認できます



いたみバスナビ